

全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

平成30年4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取り組みについてご説明します。

保護者・地域のみなさまには、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をしていただけるようお願いいたします。

1 教科学習状況調査の結果から

<国語・算数・理科結果>

本校の全体的な傾向としては、どの教科も横浜市の平均正答率を3～6ポイント上回っています。

正答数分布グラフによると算数の「活用」と理科の分布に二つの山がみられます。

身に付けている児童と確実には身に付けられていない児童に差があると考えられます。

参考資料；本校・横浜市・全国 国語・算数・理科 各調査結果における平均正答率（％）

	国語A： 主として知識	国語B： 主として活用	算数A： 主として知識	算数B： 主として活用	理科
森の台小学校	79	60	69	58	66
横浜市（公立）	73	56	66	54	61
全国（公立）	71	55	64	52	60

◇よい状況と考えられる内容

- <国語>
- ・文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことができます。
 - ・漢字配当表に示されている漢字はしっかりと身に付け、文の中で正しく使うことができます。
 - ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができます。
 - ・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことができます。
- <算数>
- ・折れ線グラフから変化の特徴を正しく読み取ることができます。
 - ・棒グラフや帯グラフの活用において、正しく読み取り適切に判断することができます。
 - ・1に当たる大きさを求める問題場面では、しっかりと数量の関係を理解し、数直線上に表すことができます。
- <理科>
- ・風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が逆になる回路を選ぶことができます。
 - ・食塩を水に溶かしたときの全体の重さについて正しく捉えることができます。

◆指導・改善が必要と考えられる内容

- <国語> ・話し合いの参加者として、質問の意図を捉えることが若干弱いです。【国B1ー】
- <算数> ・単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を正しく理解できていない割合が少し高いです。【算A4(2)】
 - ・図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が360度になっていることを記述できなかった児童の割合が高かったです。【算B1(2)】
- <理科> ・ろ過の適切な操作方法についての問題の正答率がやや低かったです。【理4(1)】
 - ・骨と骨のつなぎ目を表す言葉「関節」について答える問いでは、無答率が高かったです。【理1(3)】

2 質問紙調査結果から（顕著な傾向、横浜市平均との比較より）

- 朝食や睡眠などをしっかりととり、テレビやゲームなどの時間も比較的少ないです。基本的な生活習慣は、ご家庭の協力もあり身につけています。
- 学校のきまりを守るなど、規範意識が高まっています。
- 1日の読書をする時間が長く、本をよく読んでいます。
- 地域行事やボランティア活動への参加の割合が高いです。
- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表しています。
- 「理科室で観察や実験をする」機会が少ないです。理科の授業が面白いと思う子の割合が少ないです。

3 学校としての今後の取り組み

（かかわり合い、認め合いを育む活動）

- ・話し合い活動のスキルを身につけ自分の思いを表現できるようになる等、子どもたち同士のコミュニケーション能力の向上を図る授業を行います。日常生活にも生かせるようにしていきます。
- ・さらに自分のまちを大いに意識していけるように、地域行事やボランティア活動への参加を促していきます。

（魅力ある授業づくり）

- ・学習意欲を高めるため、個々に応じたわかりやすく魅力ある授業を心がけていきます。
- ・理科授業に関する教材の研究を更に深めていきます。5・6年の理科・社会では教科担任制を取り入れるなど授業形態の工夫や実験・観察の授業の充実を図ります。

（落ち着いた生活！あいさついっぱい！）

- ・たくさん的人数で過ごしていることを意識しみんなが落ち着いた雰囲気でおくれるようにします。
- ・登下校時、廊下などでも心のこもったあいさつができるように指導を続けていきます。

（高学年としての意識の向上）

- ・ふれあい活動や運動会の係活動などの取り組みにより、他学年との関わりが増え、高学年として自覚を持って取り組む姿が見られます。たてわりの活動を通してなど、高学年としての活躍の場を増やしていきます。
- ・ルールの大切さ、人とかかわりにおいて大切な心もちなど道徳の授業はもとより、普段からクラスの子もたちと話をし、更に意識を高めていきます。